

平成26年度 函館市地域包括支援センター事業評価

函館市地域包括支援センターあさひ

1. センターの概要(平成26年4月1日現在)

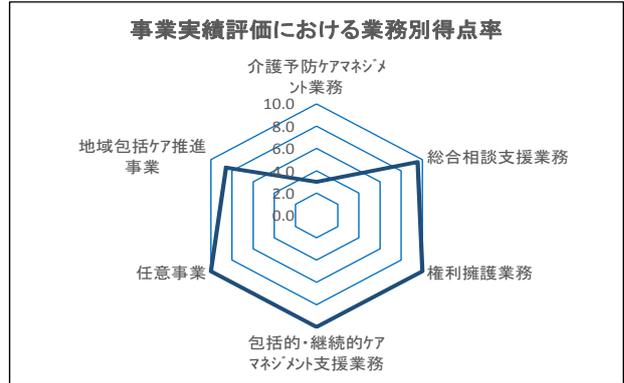
センター所在地	函館市旭町4番12号			担当圏域	西部
圏域の人口	21,401人	圏域の高齢者人口	8,147人	圏域の高齢化率	38.1%
職員数	保健師 2人, 社会福祉士 3人, 主任介護支援専門員 1人, その他 4人(配置基準職員 5人)				

2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価	市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の実施にあたっては、各専門職の視点を持ち寄りチームとしての対応ができた。 地域ケア会議の開催については、全職員で評価を行ったことで、平成27年度の開催に向けて民生委員や町会へのアンケート調査を実施し、地域課題の洗い出しを行っている。 個別ケースへの対応について、担当職員だけではなく、他職種の関わりが必要だったということがあった。今後は、より効果的なチームアプローチが行えるよう調整したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各職種の職員が担当以外の業務についても理解し、積極的な支援に取り組んでいることは評価できる。 地域包括支援センターでの経験年数が長い職員がほとんどであり、各事業の取り組みに問題はない。 他のセンターと合同で開催する会議の場面などで、消極的な姿勢の職員もみられる。専門職としての知識や日頃の業務を通じて考えていることを、センター内のみならず全市的な取り組みにも生かしてほしい。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメント業務の情報共有シートの作成について、対象者への電話かけによる勧奨を行っているが、二次予防事業の利用につながらない現状がある。要因の分析と対策の検討を行いたい。 地域とのネットワーク構築について、新たな機関との連携を積極的に行ったほか、広報誌の配布先を拡大するなどの工夫をしている。日頃の業務を通じ、地域での知名度は高まっていると感じている。 介護支援専門員への支援について、圏域内には介護支援専門員が1人しかいない事業所が多く、相談を待つだけではなく、アウトリーチにより積極的に関わっていく必要があると感じている。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメント業務の情報共有シートの作成数については、過去の実績から計画数値を設定したが、二次予防事業の利用が本人の判断に委ねられており、センター独自の実績向上が難しい面があるため、得点が低いのはやむを得ない。 懇談会や地域ケア会議等の開催を通じ、地域の民生委員や町会と積極的に連携していることは評価できる。 センター内で困難事例検討会を定期的に開催しており、職員のスキルアップに努めていることは評価できる。

4. 運営体制評価

- 適正に職員を配置している。
- 職員が働きやすい環境を整えるなど、適正な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 携帯電話への転送による、夜間・休日等の迅速な連絡・対応体制を整備している。
- 苦情への対応については、マニュアルを作成し適切に対応している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い事業運営を行っている。

5. 総評

地域包括支援センターの運営法人として、期待以上の業務を実施していると評価する。
 平成18年のセンター開所当時から、地域に根差した活動を継続し、地域の実情を把握したうえで、地域ケア会議の開催などきめ細やかな支援に取り組んでいる。今後は、圏域での効果的な取り組みを、全市的な取り組みへと展開していけるよう、積極的にセンターとしての意見を発信していただきたい。